様式第1号(第4条関係)

豊	明市行政評価 明市行政評価	闹度「	施策」評価票		施策評価票番号		33									
1 <i>h</i> i	施策の概要															
	1 - 1 施策の名称		観光(豊明まつり) 基本		施策コード 3 3 4			平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)							
Ź	1 - 2担当	部	市民部	課 又は施設 市民	協働課 評価!		協働課長 注水惠一	担当課評価	(削納の成未)	(主期间の成本)	施策評価の判定基準					
	1 - 3 総合計画に	節	都市基盤・産業	集撮具「いきいきと	:した賑わいと活力]あふれるまちづ [。]	ر ن >	151 日本計画				の目的を効果的に達 性進の実施手法等に	成しているので継続する 吹盖の必要がある			
	おける施策の体系		産業振興									性性の天旭子仏寺に	ス合の心安けめる			
	- 4施策の目的 市民が集い楽しむ場として、春・夏・秋に行われる豊明まつりの)の充実を図る。		総合評価										
,	1 - 5 総合計画に		基本成果指標名				平成18年度~平成 実績値(単位)	2 2 年度) 達成率(%)	全期間(3	平成 2 3 年度 ~ 平成 1 実績値 (単位)	2 7年度) 達成率(%)	指標の定義				
	*ける基本成果指		豊明秋まつり来	·····································		目標値(単位) 120,000(人)		2121 (19)	120,000(人)	JOHN LE (TIE)	2120	豊明まつりの実施状況を表す指標				
1:	<i>ಸ</i>		豊明夏まつり来	 E場者数		45,000(人)			50,000(人)			豊明まつりの実施	他状況を表す指標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
_ بد ـ												1				
2 <u>18</u> 1	施策推進の状況		平成18年度	平成19年度		平成21年度	要	平成23年度			平成26年度					
2	2 - 1施策全体に 系る合計コストの	直接事業費	18,279	17,393	5,000	6,000	17% = = 178	113% 2 3 1 152	17% 2 1 1/2	1 12% 2 3 1 152	17% 2 0 1 152	17% = 7 + 15€				
	能移(千円)	 人件費	3,227	3,227	3,472	3,389										
		合計コスト	21,506	20,620	8,472	9,389										
3 <u>7</u> 1	施策の担当課による	評価結果	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成 2 1 年度	夏 平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度				
3	3 - 1評価結果	単年度 担当課評価	☑ 良好に進展	☑ 良好に進展	☑ 良好に進展	☑ 良好に進展	□ 良好に進展	□ 良好に進展	□ 良好に進展	□ 良好に進展	□ 良好に進展	□ 良好に進展				
			□ 良好でない	□ 良好でない	□ 良好でない	□ 良好でない	□ 良好でない	□ 良好でない	□ 良好でない	□ 良好でない	□ 良好でない	□ 良好でない				
			今後の	環境変化を踏まえた	課題認識	既存事業の構成	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方 施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価									
3	3 - 2評価の内容	平成18年度	地域社会における 活動の場として市民	る連帯感が薄れている 民まつりの果たす役割	る中、市民の交流・ 副は大きい。	豊明まつりのあ 会により検討して	あり方を含め、抜本的 こいく。	な見直しが必要であ	り検討委員 年々イ	ベントとしての内容	も充実し、多数の市	民が参加した。				
		平成19年度		"		「豊明まつり検	「豊明まつり検討委員会」にて、今後のまつりのあり方を「市民参 年々イベントとしての内容も充実し、多数の市民が参加した。平原加型、市民主体型」とし、転換を図ることを決定。 20年度以降の「市民参加、市民主体型」のまつりの検討ができた。									
		平成20年度		"		「市民参加型、	「市民参加型、市民主体」に転換を図った。市民による実行委員会 多くの市民の来場があり、最少の予算でまつりを盛り上げることが を今後継続できるまつりとなるべく検討していく。 できた。									
3		平成21年度		<i>II</i>		「市民参加型、 るまつりとするた	「市民参加型、市民主体」に転換を図って、2年目。今後継続でき 転換を図って2年目、新たなイベント企画もでき、また雨対策を図るまつりとするため、各会場の市民メンバーと包括的な実行委員会組 ることで多くの来場者があった。 織の設立を目指す。									
		平成22年度														
		 平成23年度														
		平成24年度														
		平成25年度														
		平成25年度														
		平成27年度														

4 参考情報

多写	施策を構成する事務事業の評価情報	平成18年度				平成19年度			平成 2 0 年度				平成 2 1年度					
番	事務事業名称	成果指標と最終目標値(単位)	実績値	担当課 評価	担当課 判断 優先順位	総合評価	実績値	担当課 評価	担当課 判断 優先順位	総合評価	実績値	担当課 評価	担当課 判断 優先順位	総合評価	実績値	担当課 評価	担当課 判断 優先順位	総合評価
1	豊明秋まつり開催事業(主要事業)	豊明秋まつり来場者数 120,000(人)	109,777 (人)	В	1	В	110,291 (人)	Α	1	В	72,698(人)	Α	1	А	70,724(人)	Α	1	Α
2	豊明夏まつり開催事業	豊明夏まつり来場者数 50,000(人)	44,000 (人)	Α	2	Α	45,500 (人)	Α	2	В	45,500(人)	А	2	А	14,500(人)	Α	2	Α
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
1																		
12																		
10																		
14																		
15																		